

名の者は、會社の船使と暴力團の暴行に堪へかねて裏の非常口から豚小屋の屋根づたへに逃走したりてあります。

十三日夜の演説會を打ち壊さんとしたのも、彼大田顧問の指揮したことを見ても、會社の雇つた暴力團であること

は明かでありますが、會社の此様な暴行人なる態度は堪へに忍びないでありますんか。

起て、新村長諸君よ、而して會社の暴行を膺徴し

隣に存る人々を救へ!!

昭和三年十月

湘東鐵道野田支部
労働組合

所謂竹槍問題に就いて

九月廿八日夕刻、突如十四五場に於て飯田森一郎外十名
の檢挙されるあり、次いで幹部の總檢束となり、更に各委員
長の檢挙を見るに至り、所謂竹槍問題について、所長諸氏
に討して多火の御迷惑をかけました事と存じます。畢竟私
米幹部の不徳に由るものでありまして、其責に就いては私共は
重々謝罪しなればなりと存じます。同時、其凶答に就いては
今尚かたり誤った報導が行はれておる事を見聞致します。こ
こ、に簡單に其経過を述べ、其誤解を一掃したいと思ひ
ます。

事は、廿八日に十四五場の集會所に於て、廿七日夕方東京
方面より百余名の暴力團が入込んだので、非常口恐怖し夫等
の來襲に備へる物、自ら防衛のため、七十本余の竹槍を振
へたのを、大は會社を襲撃する物で、其命令は幹部から發せ
られたものと云ふ所が、前述の如く幹部の總檢挙となり、
また、其命令を委員長會後、於て述べられたと云ふので、委員